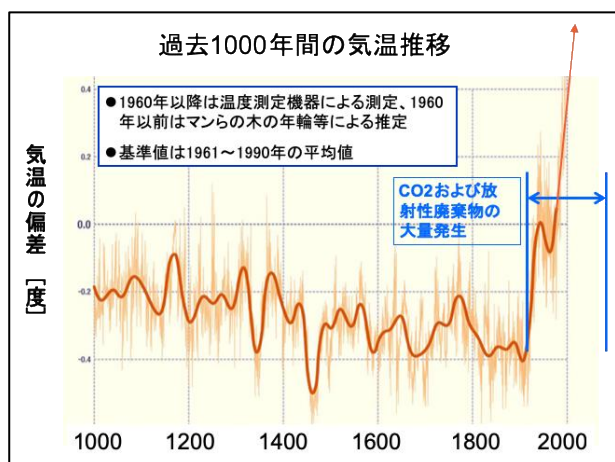
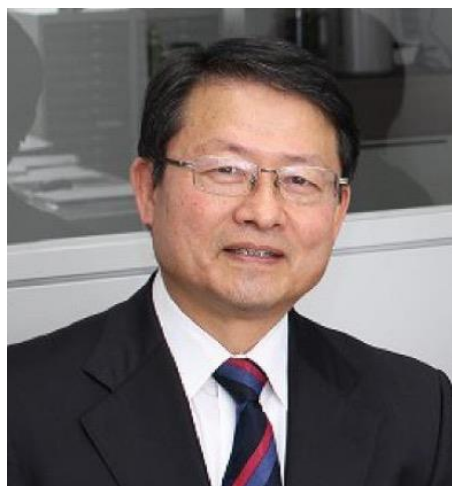


新しいエネルギー社会への挑戦



概要：最近では集中豪雨や大型台風が頻発したり、採れる魚の分布が変わったりしている。これは地球温暖化によるものであり、2050年までに現在の化石燃料消費を80%以上削減しなければ地球は危機的な状態になると言われている。子供たちにこうした大きなツケを残さないために、われわれはいったいどうすれば良いのか。本講演ではこうした地球環境変化の背景と、新しいエネルギー社会の形成法、ならびにそれを選択できるならば最終的に経済発展と活力のある社会づくりにつながることを解説する。



北海道能開大校長、北海道大学名誉教授

近久 武美

機械工学のなかのエネルギー工学が専門。ディーゼルエンジン内の燃焼や水素燃料電池ならびにコジェネレーションシステムなどについて研究を行なった。さらに将来の最適エネルギーシステムを対象として、炭酸ガス削減効果、社会コストおよび雇用促進効果について分析し、今後選択すべきエネルギー社会構造について発信を行っている。主な著書は「新しいエネルギー社会への挑戦」(北海道大学出版会)。元日本伝熱学会・会長等を歴任しているほか、日本機械学会論文賞等受賞多数。

11.14 Thu 16:30-18:00

北海道科学大学 E棟 E401 教室

主催：環境マネジメント推進委員会、FD委員会